



山田こうじです!

11.3in京都憲法集会

素晴らしい晴れ渡った11月3日。円山野外音楽堂には2800人を超える方が詰めかけ「戦争法廃止!」の決意を新たにしました。集会では、岡野八代同志社大学大学院教授(憲法96条代表・戦争アカン!京都・おんなのレッドアクション共同代表)が講演し「理性も良心も教養もないヒトの心臓を『安倍の心臓(晋三)』」と批判し、そうした人から民主主義・立憲主

義を取り戻すには「一人ひとりが判断する力をつけていくことが必要」と訴えられました。リレートークでは「明日の自由を守る若手弁護士会」「自由と平和のための京大有志の会」「SEALD SKANSAR」「ママの会@京都」「シスター・憲法9条の会世話人」「安保関連法に反対する立命学園有志の会」のメンバーが決意表明。



集会後市役所までデモ行進を行いました。日本共産党の隊列では、ハンドマイクなしの肉声で、「コールのリードを市役所まで続けました。」

戦争法廃止!戦争しない、させない!

2015年日本平和大会in富士山

10月31日から2日間にわたり、御殿場市で開催された「日本平和大会」に参加してきました。富士山の裾野に広がる、8,807ヘクタールの広大な演習場。人口9万人足らずの市に、「基地ウォッチング」のガイドさんによると、



市税収入を上回る200億円の基地交付金などがばらまかれ「観光施設」と称した自衛隊の宣伝施設が併設され、交付金による立派なお屋敷が目立ちます。基地ウォッチングは、立ち入り制限でバスから降りることもできず、実弾砲撃演習の着弾地もみれず、みるどころも大幅に制限され不満が残りました。

開会集会では、連帯のあいさつをされた「戦争をさせない1000人委員会」の事務局長長さんは「民主党は共産党の提案に消極的。これは国民への裏切り」だとのべられたのは印象的でした。イ・ミヒョン韓国・

参与連帯平和軍縮センター所長は「70年前の平和の誓いこそ平和のメカニズム。覇権争いの道を拒否しよう」と挨拶され、千坂純日本平和委員会事務局長は、総がかり実行委員会の「戦争法廃止を求める統一署名」を来年5月3日までに2000万筆を達成しようと呼びかけ、各地の運動の連帯交流を行いました。

二日目は「国民の暮らしと日米安保体制の関係は」の分科会に参加し、定員80名を大きく上回る参加。私は京都市議会での変化と市長の政治姿勢を報告し討論に参加し、市長選挙の支援を呼びかけました。

府・市政報告懇談会開催中!

この間各学区や団体で「府市政報告懇談会」を開催し、共産党の話を聞くのは初めて、という方も参加され、地域要求や疑問などに応える等、双方の懇談会が好評です。「国民連合政府」の提案とともに、マイナンバー問題や地域の要求などが出されて、活発な話し合いがされています。



まちなか学校統廃合・跡地利用

を考えるシンポジウム

11月6日に京都教育文化センターで開催された「まちづくりと学校統廃合 跡地利用」を考えるシンポジウムが京都教育センター主催で開催されました。自治体問題研究所事務局長の池田豊氏から、アベノミクスと一体化した学校跡地利用のテーマで基調報告が行われました。明治維新後の京都の町衆の手によって、当時の住民自治組織であった「番組」を単位として創立された番組小学校の歴史と成り立ちを紹介し、跡地活用の基本方針では「歴史的経過について充分配慮すること」と位置づけられています。ユニバ、リーマンショック

クと、京都市教委による施設一体型の小中一貫校政策のもと、跡地問題の性格が大きく変わり「経営資源」とし学校跡地の切り売りへと大転換が行われたことが報告されました。学校統廃合で、学校運営費、施設改築費、教員削減など財政効率だけが強調され、地域住民の目線も、子ども目線も不十分で報告されました。シンポジウムでは、本田久美子さんがコーディネータを務め、研究者や統廃合された地域の住民の方、少人数校の優位性を報告された教職員がそれぞれ発言され、問題点を明らかにされました。

田中ひろこ

NO.120

「民主主義ってなんだ!」民青西地区委員会・日本共産党西地区委員会共催の青年の集會に参加しました。

震災被災地のボランティアに参加した青年や、学費奨学金・ブラックバイト問題を告発した学生。公立保育所で困難を抱える子供の背景に貧困があることを報告した保育士さん。それぞれの立場で「民主主義と主権者意識」を真剣に考えている青年達。

グループに別れ、グループ討論で自分の考えや生い立ちを話し、自覚的な生き方を模索する青年たちとの対話は、感性を大きく刺激されるものでした。あらためて、自らの「青年時代に如何に社会にかかわっていったか」とも考え刺激を受け交わってきた機会でした。ありがとうございます。

